



平成28年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年6月10日  
東

上場会社名 株式会社東京楽天地 上場取引所  
 コード番号 8842 URL <http://www.rakutenchi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田啓三  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 岡村 一 (TEL) 03(3631)5195  
 四半期報告書提出予定日 平成27年6月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第1四半期の連結業績 (平成27年2月1日～平成27年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第1四半期	2,189	△4.3	386	△4.1	415	5.4	241	7.9
27年1月期第1四半期	2,288	△1.5	403	13.6	394	△7.8	223	△16.4

(注) 包括利益 28年1月期第1四半期 620百万円(828.4%) 27年1月期第1四半期 74百万円(△88.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第1四半期	4.03	—
27年1月期第1四半期	3.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年1月期第1四半期	35,339	27,874	78.9	465.85
27年1月期	35,239	27,434	77.9	458.48

(参考) 自己資本 28年1月期第1四半期 27,874百万円 27年1月期 27,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年1月期	—	—	—	—	—
28年1月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年1月期の連結業績予想 (平成27年2月1日～平成28年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,350	△5.3	650	△15.6	700	△11.7	450	△5.9	7.52
通期	9,100	△0.5	950	△35.3	1,050	△32.3	700	△28.2	11.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年1月期1Q	65,112,187株	27年1月期	65,112,187株
② 期末自己株式数	28年1月期1Q	5,276,503株	27年1月期	5,274,835株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年1月期1Q	59,836,557株	27年1月期1Q	59,843,047株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策の効果を背景に、企業収益や雇用情勢は改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、消費増税や物価上昇により消費マインドの回復に弱さがみられるなど、先行きは不透明なままの状況で推移いたしました。

このような状況下にあつて、売上高は2,189百万円と前年同四半期に比べ98百万円(4.3%)の減収となり、営業利益は386百万円と前年同四半期に比べ16百万円(4.1%)の減益、経常利益は415百万円と前年同四半期に比べ21百万円(5.4%)の増益、四半期純利益は241百万円と前年同四半期に比べ17百万円(7.9%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

#### (不動産賃貸関連事業)

不動産賃貸事業では、既存テナントに対してはきめ細かな対応をおこなうとともに、退店スペースに対しても積極的なリーシング活動を実施し、売上高は前年同四半期並みとなりました。

ビルメンテナンス事業では、当社グループ地元の大型案件を獲得するなど、意欲的な営業活動に努めましたが、附帯するイベント事業において受注額が減少したことなどから、前年同四半期を下回りました。

以上の結果、不動産賃貸関連事業の売上高は1,262百万円と前年同四半期に比べ3百万円(0.3%)の減収となり、セグメント利益は633百万円と前年同四半期に比べ13百万円(2.2%)の増益となりました。

#### (娯楽サービス関連事業)

映画興行事業では、「映画ドラえもん のび太の宇宙英雄記(スペースヒーローズ)」「イントゥ・ザ・ウッズ」「暗殺教室」等の作品が好稼働しましたが、昨年記録的大ヒットとなった「アナと雪の女王」には及ばず前年同四半期を下回りました。

温浴事業では、「天然温泉 楽天地スパ」および「楽天地天然温泉 法典の湯」は身近なレジャーとして引き続きお客様の支持をいただき、昨年の大雪の影響がなくなったこともあり、前年同四半期を上回りました。

フットサル事業では、利用されるお客様の幅が広がってきたことなどから「楽天地フットサルコート錦糸町」および「楽天地フットサルコート調布」ともに好調に推移し、前年同四半期を上回りました。

以上の結果、娯楽サービス関連事業の売上高は700百万円と前年同四半期に比べ57百万円(7.6%)の減収となり、セグメント利益は46百万円と前年同四半期に比べ13百万円(22.6%)の減益となりました。

#### (飲食その他事業)

飲食事業では、ドトールコーヒー系フランチャイズ店は、既存店の売上高が前年割れとなり、本年1月に「エクセルシオールカフェ船橋駅南口店」を閉店したこともあり、前年同四半期を下回りました。

その他の事業では、宝くじ販売におきましては、全国的に販売枚数の減少傾向が続いていることを受け、前年同四半期を下回りました。

以上の結果、飲食その他事業の売上高は226百万円と前年同四半期に比べ38百万円(14.4%)の減収となり、セグメント利益はコーヒーショップ各店舗の人件費が上昇したことなどから、10百万円と前年同四半期に比べ8百万円(44.9%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は35,339百万円と前連結会計年度末に比べ100百万円の増加となりました。これは主として、浅草事業場の建築工事代金の支払いにより現金及び預金が増加したこと、同工事代金を建設仮勘定に計上したこと、有形固定資産の減価償却がすすんだこと、および株価の上昇により投資有価証券が増加したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は7,465百万円と前連結会計年度末に比べ339百万円の減少となりました。これは主として、税金の支払いにより未払法人税等およびその他の流動負債(未払消費税)が減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は27,874百万円と前連結会計年度末に比べ440百万円の増加となりました。これは主として、四半期純利益を計上したこと、その他有価証券評価差額金が増加したこと、および配当金を支払ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年3月11日発表の数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,437,396	733,589
売掛金	227,797	208,401
有価証券	100,000	100,000
その他	200,168	196,247
貸倒引当金	△160	△50
流動資産合計	1,965,201	1,238,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,216,599	14,979,483
土地	5,653,575	5,653,575
建設仮勘定	5,504,469	6,057,837
その他(純額)	207,209	207,826
有形固定資産合計	26,581,853	26,898,721
無形固定資産	302,407	320,072
投資その他の資産		
投資有価証券	5,686,113	6,178,411
その他	703,791	704,270
投資その他の資産合計	6,389,904	6,882,681
固定資産合計	33,274,165	34,101,476
資産合計	35,239,366	35,339,664

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	322,888	330,021
未払法人税等	419,384	167,001
賞与引当金	43,849	100,004
その他	1,558,555	1,341,367
流動負債合計	2,344,676	1,938,394
固定負債		
役員退職慰労引当金	84,415	88,351
退職給付に係る負債	589,243	564,087
資産除去債務	513,949	523,657
受入保証金	3,807,598	3,807,598
その他	465,355	543,174
固定負債合計	5,460,560	5,526,868
負債合計	7,805,237	7,465,262
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,046,035	3,046,035
資本剰余金	3,378,537	3,378,537
利益剰余金	21,658,953	21,720,503
自己株式	△1,981,213	△1,982,041
株主資本合計	26,102,312	26,163,034
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,331,817	1,711,366
その他の包括利益累計額合計	1,331,817	1,711,366
純資産合計	27,434,129	27,874,401
負債純資産合計	35,239,366	35,339,664

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)
売上高	2,288,349	2,189,408
売上原価	1,602,009	1,507,787
売上総利益	686,340	681,621
一般管理費	283,061	294,808
営業利益	403,279	386,813
営業外収益		
受取利息	378	205
受取配当金	799	966
持分法による投資利益	—	33,754
投資有価証券売却益	13,292	—
回数券退蔵益	4,722	4,789
その他	2,868	428
営業外収益合計	22,061	40,144
営業外費用		
支払利息	12,874	10,533
固定資産除却損	11,287	814
持分法による投資損失	4,099	—
その他	2,600	15
営業外費用合計	30,861	11,363
経常利益	394,479	415,593
税金等調整前四半期純利益	394,479	415,593
法人税等	171,101	174,531
少数株主損益調整前四半期純利益	223,377	241,062
四半期純利益	223,377	241,062



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	223,377	241,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△148,461	379,549
その他の包括利益合計	△148,461	379,549
四半期包括利益	74,915	620,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,915	620,611
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年4月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	1,266,377	757,508	264,464	2,288,349	—	2,288,349
セグメント間の内部 売上高または振替高	107,086	106	235	107,428	△107,428	—
計	1,373,463	757,615	264,699	2,395,778	△107,428	2,288,349
セグメント利益	619,795	60,087	19,635	699,518	△296,239	403,279

(注) 1. セグメント利益の調整額△296,239千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△283,061千円、セグメント間取引消去△13,177千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年2月1日至平成27年4月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	1,262,995	700,156	226,256	2,189,408	—	2,189,408
セグメント間の内部 売上高または振替高	95,528	92	237	95,858	△95,858	—
計	1,358,524	700,248	226,494	2,285,267	△95,858	2,189,408
セグメント利益	633,334	46,492	10,809	690,635	△303,822	386,813

(注) 1. セグメント利益の調整額△303,822千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△294,808千円、セグメント間取引消去△9,014千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。